

安心できるまちづくりのために 行政の果たす役割



こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党

大津湖西地区委員会

連絡先 日本共産党大津市会議員

岸本のり子

大津市和邇春日2丁目

ケイタイ 08031163877

2012. 3/ 18
116

日本共産党

静かな里を揺るがす

「幸福の科学」学園建設

まちの発展につながるのでしょうか

「幸福の科学」が学園建設を予定していることを市民が知ってから1年3ヶ月……

これまで3万筆を超える建設反対の署名が行われてきたにもかかわらず、学園側は肅々と計画をすすめ、昨年11月からは建設工事に入っています。

岸本市議は、大津市が簡易な手続きのみで「建築確認」をすませたことについて、越新市長の見解を質問。

さらに市民が求めている、地盤の安全性を立証するデータの開示を学園に求めることや、市長が直接市民との対話を行い、市民の不安の解消に力を尽くすことを求めました。

越市長は、「市民との対話は、要請があれば応えていきたい」と述べながら、「建築確認については、選挙後、担当課に確認したが、市の判断に間違いはない」と前市長と変わらない態度でした。

「幸福の科学」学園の講演のピラを 小・中学校で配布

学園関係者が市内で講演を行い、そのピラが小・中学校で配布されたことに対し、岸本市議は子育て中の保護者から、不安が寄せられている中で、公教育のあり方についても指摘しました。



志賀北部の交通手段の確保は
暮らしに欠かせない！
市民の切実な願いを署名や請願
に託して5年・住民運動みのる！

旧志賀町は南北17kmの細長い地域。

合併により福祉目的のバスも廃止され、唯一の公共交通であるJR駅には、エレベーターもなく、高齢者や障がいのある方にとって、買い物や通院という日常生活すら、不自由な現状です。岸本市議は今日まで、「暮らしの足」の確保について訴えてきました。

「JR駅にエレベーターの設置調査」 予算化

市は、これまで市内には交通空白地はないとの見解をしてきましたが、今議会では、「市内に交通の不便な地域が存在する」などの課題を認め、「地域の実情に応じて市民との協議もふまえた公共交通のあり方について検討する中で、志賀地域も調査対象としていきたい」

「駅のエレベーターの設置調査については6月議会で予算化する」とこれまでから大きく前進。

大津市の各部署のバスの活用を

岸本市議はさらに大津市北部地域には教育委員会や福祉、環境部など様々な部署が地域にバスを走らせており、これらを効率よく総合的に運用して、市民の公共交通の充実を願う声にこたえるべきとの質問に、「一つの提案として、また今後検討していく中で、持続可能な公共交通のあり方を検討していきたい」との答弁を得ました。